

記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当課(室) 班名	電話番号 (直通)	発表者名 (担当主幹名)	その他の発表 先 配布
10/3 (木)	高校教育課 教育指導班	内線 5736 (078-362-9444)	西田 利也 (桑田 耕治)	

## 「数学・理科甲子園 2019」の開催

### 1 趣 旨

県内の高校生等が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的な問題解決能力やプレゼンテーション能力を競う「数学・理科甲子園」を開催する。本大会は、来年3月に埼玉県さいたま市で開催される「第9回科学の甲子園全国大会」の兵庫県代表を選考する予選を兼ねる。

2 日 時 令和元年10月12日(土) 9:50~17:00

3 場 所 甲南大学 講堂兼体育館  
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

### 4 出場チーム

県内高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校を対象とし、1校1チームが出場可能。チームは同じ学校の1、2年生の生徒6~8人で構成。

※ 64チーム 471名が参加

### 5 対戦方法

#### (1) 予選(筆記競技)

##### ① 内容

数学分野・理科分野の筆記試験

個人戦 8問(数学分野2問、理科分野6問) 個人で問題を解く。

団体戦 8問(数学分野2問、理科分野6問) すべて5択問題。

##### ② 方法

個人戦、団体戦でのチームの総得点で競い、上位16チームが本選に進む。

#### (2) 本選(実技競技)

##### ① 内容

16チームが、数学分野と理科分野の両方の課題に取り組む。

数学分野：数学に関する論理的な思考力、表現力を問う問題。

理科分野：理科に関する総合的な知識を用いて、課題工作や実験考察等に取り組む問題。

##### ② 方法

本選及び予選の得点で競い、上位5チームが決勝に進む。

#### (3) 決勝(実技競技)

##### ① 内容

本選を勝ち抜いた5チーム(1チーム6人)が、身近な現象の原理を使って、与えられた課題を解決し、自分たちの考え方についてプレゼンテーションを行う。

### 6 昨年の結果

平成30年度(数学・理科甲子園2018) 参加校 69チーム 504名

優勝：県立宝塚北高等学校、2位：甲陽学院高等学校

3位：県立神戸高等学校、県立姫路西高等学校、県立大学附属高等学校